



キャンプ利用状況(7月18日現在)

○ 宿泊利用者数 延べ118名 *7/17 宿泊分までの累計

- ・かわいキャンブは、ボランティアさんが滞在しながら被災地の支援活動に携わっていただくことを目的としております。ボランティアさんが元気にボランティア活動に従事できるよう、生活環境を整えたり、激励することは被災地への支援に繋がるものです。
- ・キャンブは、ここでの生活を通して宮古や盛岡の風土を知り、人々とのふれあいができるような機会をつくることも大切なことと思っております。

■ 元気を充電！ 焼き鳥炊き出し交流会 ■

- きのう17日、アジア航測(株)盛岡支店さん(支店長 菅原 脩さん)とタックエンジニアリングさんのCRS活動(社会貢献活動)に呼応された、焼き鳥「鳥正」さん、サンワミートさん、NPO法人アイディングさんとの共催により焼き鳥500本の炊き出しがありました。この炊き出しは、「ボランティア活動をされている方々に、疲れた体を癒して頂く」ことをコンセプトとして行われたもので、ボランティアさん約20名と、地元の上川井地区振興会、宮古市川井総合事務所、盛岡市復興推進部、キャンブスタッフとの交流を兼ねて行われたもので、合わせて50名を超える方々が参加しました。会場となったキャンブ前広場は、消灯時間直前まで賑やかでした。
- アジア航測さんを始めとするメンバーの方々は、これまでも沿岸被災地各地で「焼き鳥1000本お届けプロジェクト」による炊き出し活動を行っています。



炊き出しスタッフ代表 菅原さん



上川井地区振興会長 橋本さん



ボラ代表 鮎川さん (大阪)

